

と う べ つ

2004. 4

Public Relations Tobetsu



最後の思い出に・・・親子でお楽しみ会（3月11日・川下小学校）

ホームページアドレス <http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

就任から3回目の町政執行方針を述べることとなりますが、最も大きな行政課題になっている町村合併と危機的状況にある町財政の抜本的な立て直し、さらに新しい農業政策の確立など、当別町がかつてない転換期にあることを強く実感しています。

この大きな転換期にあっても大切なことは、町民の皆さんが希望を持って暮らせる環境を整えることであると考えています。

私は積極的に町民の皆さんと向き合った町政の推進を念頭に、様々な地域の課題を肌で感じながら迅速な措置を講じるよう努めてきたところです。

また、田園や山河などの固有の自然、JR、国道などの交通アクセスと道民の森などかけがえのない環境資源や、さらに学術医療のシンボルとして医療大学を有する当別町の潜在的な可能性を信じて、将来を見据えながらこの困難な時に立ち向かって行かなければならないと考えています。



平成16年度町政執行方針

当別町長 泉亭俊彦

3月議会の町長・教育長所信表明から抜粋しています

重点施策

環境に配慮した美しいまちづくりの推進

平成14年3月に制定した「美しいまち当別をみんなでつくる条例」は、2年が経過し各地域で町民の皆さんが主体となった取り組みが行われ、まちづくりの意識が確実に高まってきていると感じています。

◆景観に配慮したまちづくりを推進するため昨年に引き続き、「当別町美しいまちづくり推進補助金交付制度」により、地域の皆さんの自主的な取り組みに対して支援します。

◆「当別町美しい景観委員会」を設置し、景観創出の取り組みとこれらの保全などに対して、町民の意見を反映させていきます。

◆定住型優良田園住宅の建設促進を図るために策定した「優良田園住宅の建設の促進に関する基本方針」の

制度を活用

してもらっために町内外に広く情報発信してきます。

◆森林、農村などの恵まれた自然や、環境の村など特色のある様々なステージを活用して、ひとづくりや環境学習を核とした積極的なまちづくりを進めます。

◆本年8月に道民の森を中心に北方圏の国々の高校生を対象とした「ユースエコフォーラム」が開催されます。この機会を活用し、町民が環境に対する意識を高めることができるよう、普及啓発を進めます。



少子高齢社会に対応した福祉施策の推進

行政や関係団体をはじめ、地域が一体となって健康づくり対策を総合的、効果的に推進できるよう、「当別町健康づくり計画」を策定します。

◆本町でも少子高齢化が進んでいますが、高齢者が地域の活性化に積極的な役割を果たし、かつ健康で安心して日常生活を送ることができるよう介護サービス基盤の整備や老人保健事業介護予防施策を推進し

ます。

◆子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりと子育て支援として、「当別町子育て行動計画」を策定します。

◆子どもブレイハウスを総合的な子育て支援体制に組み入れるため、これらの運営を教育委員会から福祉部へ所管替えし、保健、医療との連携を一層深めながら、サービスの向上を図ります。

◆ 本年の新しい取り組みとして、全ての町民が心身ともに健やかな生活を送ることができるよう、成人まで一貫した歯科検診体制の導入

資源循環型社会の構築

人々が健康で安全な暮らしを営むためには、これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄といった生活を見直す必要があります。

◆ 「当別町」ごみ減量化アクションプラン」を策定し、「ごみの減量化、分別

農業政策の推進

現在、本町の60歳以上の経営者で後継者のいない農家は44パーセントにもなっています。

◆ 後継者が不足していることや高齢化対策として、土地、農業用機械、労働力、生産技術、経営能力などを結集し、地域ごとに経営体または共同体の設置に努め、組織的に営農する「地域営農」の取り組みを最優先に支援する「地域水田農業ビジョン」を策定します。

◆ 経営体を核にした都市近郊型農業は、これまでにはない経営ノウハウが必要であり、広く各業種からも人材を求めらるることになり、新たな担い手が育成され、強力な地域営農が推進されるものと考えます。

を図るとともに、北海道医療大学などが全町民の歯の健康づくりを進める「歯ればれとうべつ健康プラザ」の活動を支援します。

回収やリサイクルなど、資源の有効利用や廃棄物の適正処分により、大量消費社会から資源循環型社会への構築を推進します。



これらが実現できるよう水田農業推進協議会やJAなどと協力して、当別町の農村の活性化につなげていきます。



水田ビジョン地域説明会

商店街活性化の推進

「当別町商業活性化基本構想」に基づき、これまでに町民がふれあい、集う場所として商店街活性化センター「あえる」や、イベントなどを催す多目的広場「まちの駅アウル」を整備し、活性化を図ってきました。

その結果、地域の自発的な活動により、年間2万人以上の人々がこれらの施設を利用され、商店街に賑わいが戻りつつあります。

生涯学習の推進

町民が生涯にわたり、いきいきと心豊かに充実した生活を営むために、町民自らの学ぶ意欲や取り組みを大切にし、「いつでも、どこでも、自由に学

生活基盤の整備

◆ 昨年の3月末に、国道337号（道央圏連絡道路）当別バイパスが国道275号まで開通しました。この国道を有効に活用していくために、

当別大通の早期完成と幸町土地区画整理事業を積極的に推進するとともに、当別川に架かる当別大橋改築の早期事業化を北海道に要請し、国道と市街地とを連絡し、本町の活性化につながる当別大通の全線完成に向けて取り組みます。

◆ 地域住民に密着した個性的な商店街空間として、ふれあいや情報発信の場として有効に機能させていかなければならないと考えます。

◆ 新たな試みとして、商店街への新規出店の促進を図るため、「チャレンジショップ事業」の実施など、商工会と十分に連携を取り、商店街の活性化と新しい魅力づくりを図ります。

べる「生涯学習社会の実現を教育委員会と連携を深めながら「学ぶ環境の充実」に努めます。

◆ パンケチュウベシナイ川の保全改修に着手し、水辺空間として、潤いと憩いを提供していきます。

◆ 上水道については、都市計画事業に伴う水道施設の整備を進め、安定した飲料水の供給に努めます。

◆ 下水道は、公共用水域の保全と町民が安心して生活できるよう処理区域内の汚水、雨水事業の整備を進めていきます。

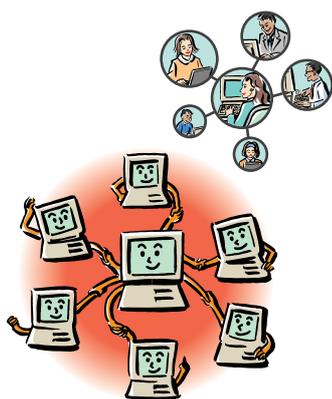
現在、国は分権型社会へ大きく転換しつつあり、このような変革の時代にあつて基礎自治体としての役割を果たすためには、従来の行政主導のシステムから脱却し、新しい行政システムの確立が求められます。

◆事務事業の見直し

事業に「どれだけの効果があつたのか」という成果を重視する町民の視点に立つた町政を進めるとともに、「民間に委ねることができるものは、積極的に委ねていく」など、抜本的な事務事業の見直し等を行い、財政力に似合った行政のスリム化に努めます。

◆高度情報システムの構築

IT社会に適応した行政運営が可能となる体制として、庁内LANや国、道、市町村を結ぶ「総合行政ネットワーク設備」などを整えてきました。



これらは、「住民票の交付申請など、各種の行政手続きが家庭から行える」電子自治体の基盤となるものですが、国や自治体で相互利用する共通システムの整備が不可欠となります。

◆北海道が進める「電子自治体プラットフォーム構想」により、道内の自治体が連携してシステム整備に積極的に参加し、住民が必要とする情報の入手や発信、さらに電子手続きなどが早期に実現できる取り組みを進めていきます。

◆町民の個人情報などの情報資産を保護し、漏洩を防ぐセキュリティの確保として基本方針と対策基準などの「当別町情報セキュリティポリシー」をより実効性のあるものにするため、職員の情報セキュリティに対する意識向上や細部の取り扱い基準を定めていきます。

◆住民参加のまちづくり

分権時代の基礎自治体が、魅力あるまちづくりには、的確な住民ニーズを把握する必要があります。これまで以上に町内会、ボランティア、NPO、学生などとの協働によるまちづくりを推進するとともに、責任感と協調性ある住民の行政参加が必要となります。

◆住民と行政がそれぞれの能力を発揮することによって、行政サービス

が柔軟かつ効率的、効果的なものになると考えています。

◆今後、町内会をはじめとする各種住民組織などの活動が活発化するよう、情報提供や人的な支援を積極的に行つていきます。

◆各種事業の計画段階において、広く町民の皆さんから建設的な提案などをいただきたく、パブリック・コメント制度などの活用を検討し、住民の声を反映した町政を進めます。



重点施策

地方自治体は、大きな転換期を迎えて、国に依存しない自立できる自治体を目指さなければなりません。

昨年、町村合併について町民の皆さんや議会の方のご理解を頂いた中で進めてまいりました。

しかし、合併する、しないに関わらず、効率的な行政基盤を確立することが、この町の住民の付託を受けた町長としての責務であると考えています。

町村合併は、行財政改革を進めるうえで有効な手段であると認識していますので、法定期限までに時間的な余裕はありませんが、可能な限り合併のあり方について、引き続き町民対話などに鋭意取り組んでまいります。

国の三位一体改革と称するもので地方交付税や国庫補助金の削減は、今後も続くと考えられますので、これに対応するためには、役場のスリム化は当然のこととして、行政サービスを町民とともに見直しする仕組みを作り、サービスの種類によっては住民負担をある程度自覚していただくことは、大切なことと思います。

厳しい財政状況の中ではありますが、未来を見据えたまちづくりを進め、「住んでいることに誇りと夢のある当別町」を、町民の皆さん、議会の皆さんとともに力を合わせてつくりあげて行きたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

生涯学習社会を迎え、人々の様々な学習ニーズが求められる中で、3月に新しい「当別町生涯学習推進計画」が完成しました。

今後はこの計画に基づき、いつでもどこでも学び、生き生きと学び続ける生涯学習社会の実現に向けた、条件整備をしていくことが大切なことと考えています。

また現代は、力強く生き抜く力の育成や生き甲斐を感じることの出来る学習などが求められており、このような時代的要請に応える教育行政を推進していくことが大切なことと考えます。

財政難の中ではありますが、これらの取り組みを進めるため、地域の教育力を活用しつつ学校、家庭、地域社会のネットワークづくりを進め、学校施設や社会教育施設と連携した教育行政を進めていきます。



教育行政執行方針

教育長 高橋 義

重点施策

幼稚園教育の推進

幼稚園教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培うことから、幼稚園を中心とした家庭や地域社会全体で望ましい発達を促す事が大切であり、子育て講演会などを開催し、保護者とともに幼児教育のあり方について研修を深める取り組みを進めていきます。



学校教育の推進

新学習指導要領実施3年目を迎え、「生きる力」の育成に向けた着実な実践が求められています。学校と保護者、地域が一層の信頼関係を築いていくため、開かれた学校の推進に努めていきます。

確かな学力の定着

ティーム・ティーチング（教科担任と共に他の先生が入り、複数で指導する制度）や少人数指導などに取り組むとともに、当別小学校においても西当別小学校で実施してきた大学生の「教科ボランティア事業」を実施します。地域教育資源の活用を働きかけるとともに、文部科学省の委託事業「NPO等と学校教育との連携の在り方」についての実践研究事業」を、環境教育を中心に実施してまいります。

豊かな心の育成

町内各分野で活躍している社会人を道徳の授業などに生かす取り組みを進めていきます。

学校図書蔵書冊数の増加と司書教諭の活用を図りながら、読書に親しむ活動の充実にも努めていきます。

開かれた学校の推進

家庭や地域が一体となって児童生徒の健全な発達を育むことが求められていることから、学校評議員の一層の活用と、教育活動に対する保護者、

地域住民の意見や要望を組織的に取り入れる外部評価の取り組み、また、学校理解のための広報活動の充実などを働きかけていきます。

教育環境、施設整備の充実

弁華別中学校のパソコンの更新、当別小学校外部非常階段改修工事など児童生徒が安全な学校生活を営めるよう施設整備の改修を進めていきます。

安全な学校給食



安全性と栄養に配慮しながら、食事や食材に関わる関心を高める教育の組織的取り組みを各学校と連携して進めるとともに、引き続き地元産食材の使用に努力してまいります。

社会教育の推進

多様化が進む社会の変化に柔軟に対応するための学習や生き甲斐づくりの学習、子育てに関する学習が重要になってきていることから、各種学習会の場を設定していくとともに、地域の社会教育団体、サークルの育成・支援を進め、更に情報の発信を大切にしながら、学習や活動への参加意欲を高めていきます。

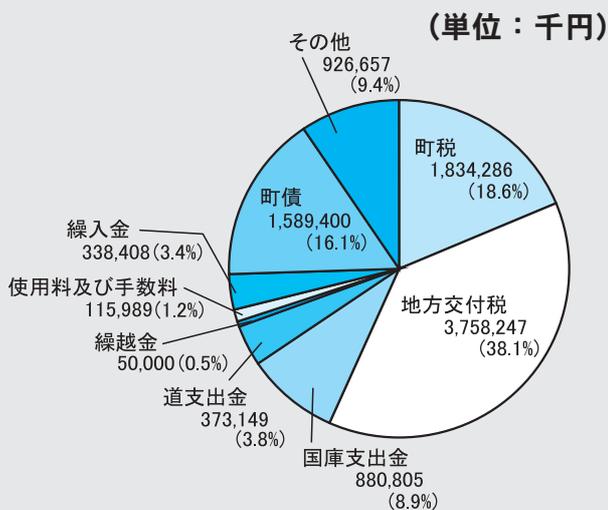
歳予算概要

平成16年度予算は、一般会計、国民健康保険など6つの特別会計と水道事業の企業会計を合わせた実質の合計額が**167億141万円**（0.2%減）と対前年度4年連続マイナスの緊縮型予算となりました。

町予算の最も基本である一般会計は、借換債などを除いた実質金額が**95億9,144万1千円**となり、前年度に比べると1億3,968万9千円（1.4%減）の減額となっています。

※借換債とは

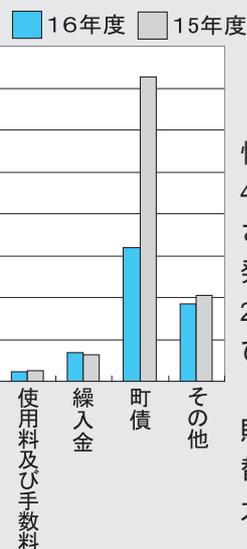
町の借金である「町債」を繰り上げて償還し、低金利で再び借り直すこと



歳入

長引く不況の影響から町税の伸び悩みや地方交付税が前年に比べて4,415万円（1.2%減）の大幅な減額、さらに地方交付税削減を補うために発行される臨時財源対策債が4億2,420万円（30.5%減）などで収入が伸び悩んでいる状況が続いています。

削減された金額を補うために、町の貯金にあたる「基金」の取り崩しや繰替え運用をして財源を確保するなど大変厳しい状況が続いています。



家庭教育

家庭での生活や教育は、人格の形成に大きな影響を持つことから、「子育てを考えるつどい」「楽しい音楽のつどい」「子育て講演会」「絵本に親しむ講演会」などを開催します。

乳幼児からの絵本の読み聞かせが、親子の愛情や豊かな感性を育むことに大きな役割を果たすことから、ブックスタート推進事業を実施します。

青少年教育

放課後や週末の活動を充実させるため、文部科学省の委託事業を受け、地域子ども



も教室推進事業を実施していきます。

週末における地域の居場所づくりとして、子ども出前講座の実施、さらに、人権教育推進事業として、小中学生を対象に映画の上映と原作者の講演を実施します。

防犯協会など関係機関と少年指導センターとの連携を密接にしながら問題行動の実態に即した巡視に取り組みます。

成人・高齢者教育

町民が学びたいことを自ら企画、運営していく町民自主企画講座を支援するとともに、北海道医療大学との連携により、まちづくりを考えていく当別学講座を開設します。

文化活動

ことぶき大学を開催していくとともに、高齢者の生き甲斐づくりや社会参加の一環として、各町内会老人クラブも対象とした学習機会の拡充に努めていきます。

文化団体交流の活発化への支援、活動や発表の場の提供、多くの

出展が可能となる文化祭会場の設営などに取り組んでいきます。



町民の読書環境の充実のため、蔵書数の増加や閲覧環境の改善などに努めます。

新刊児童本の各学校への定期的な巡回や、児童生徒からの利用希望に応じて各学校に配送する子ども出前図書を実施していきます。

伊達記念館、伊達邸別館、開拓郷土館は、冬期間の利用者の低迷から12月から3月まで休館します。

スポーツ

生涯にわたってスポーツを楽しむために、年代に応じた各種スポーツ教室を開催するとともに、誰もが気軽にできるニユースポーツの普及を図っていきます。

総額 **169億7,691万円**
(実質167億141万円)

平成16年度

❖各会計予算歳入・歳出総括表❖

(単位:千円・%)

会計区分	16年度予算額	15年度予算額	比較	増減率
一般会計	9,866,941	11,979,230	▲ 2,112,289	▲ 17.6
	9,591,441	9,731,130	▲ 139,689	▲ 1.4
国民健康保険特別会計	1,818,900	1,813,264	5,636	0.3
老人保健特別会計	2,263,723	2,168,533	95,190	4.4
介護保険特別会計	938,193	980,585	▲ 42,392	▲ 4.3
介護サービス事業特別会計	55,967	53,808	2,159	4.0
下水道事業特別会計	1,102,461	1,153,346	▲ 50,885	▲ 4.4
農業集落排水事業特別会計	88,198	86,275	1,923	2.2
水道事業会計	842,527	741,567	100,960	13.6
合計	16,976,910	18,976,608	▲ 1,999,698	▲ 10.5
	16,701,410	16,728,508	▲ 27,098	▲ 0.2

※) 表内下段については、「借換債など」を除いた実質の金額と伸び率。

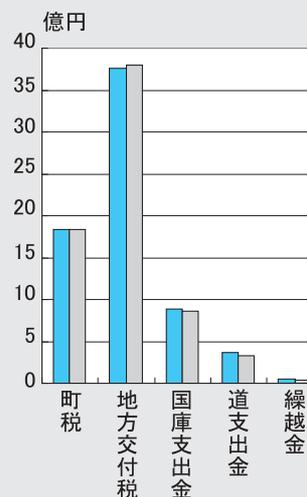
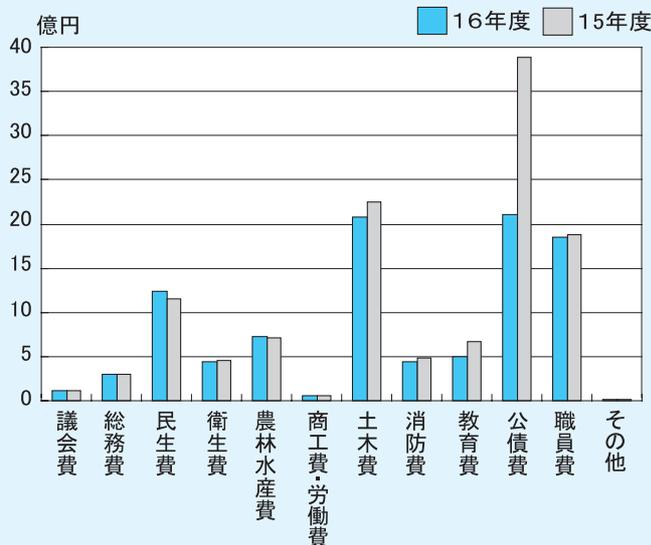
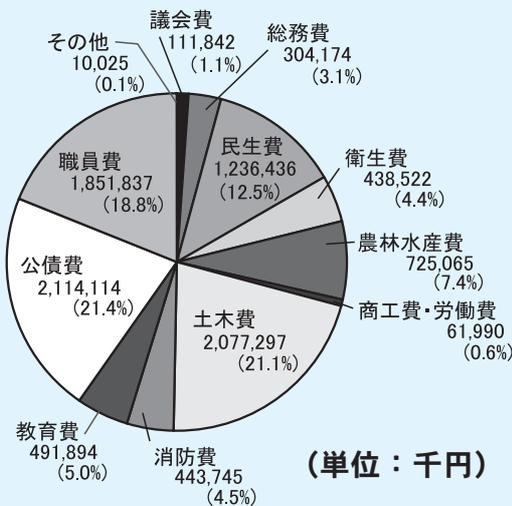
一般会計総額 **98億6,694万1千円** (実質95億9,144万1千円)

歳出

収入減に伴う予算執行のために、廃止・休止・繰延べなど事務事業を細部にわたってこれまでにないほどの見直しを行いました。

しかし、国や道の制度改革による新たな支出や借入金の償還、継続中で中止ができないものもあります。

民生費については、前年度に比べて増額となっています。主に障害者などを支援する支援費制度の増加、制度改革による児童手当の該当年齢引き上げなどが要因です。



新年度の主な事業

主な新規事業

金沢会館建設工事

現在使用している会館は泥炭地盤が原因で傾いているため建て替えを行います。地域住民と利便性など相談しながら設計します。

3,788万4千円

当江線バス運行事業

バス路線を維持するため、現在、第一観光バスが運行している本路線の運行経費を、北海道・江別市・当別町で一部負担します。

157万2千円

電子自治体関連推進事業

(ハープ構想)

住民がインターネットを使って各種行政手続きが行えるシステムとして北海道が進めている「電子自治体プラットフォーム構想」を、道内の自治体が連携して整備開発するための費用を負担します。

451万5千円

成人歯科保健事業

乳幼児や学校保健の歯科検診のみでなく、一貫した歯科検診体制を確立するため、成人の歯科検診を実施します。

27万6千円

歯ればれとうべつ健康プラザ補助金

空き店舗を利用し、町民の歯の健康づくりのため、健康情報発信や町民の交流学习を実施する実行委員会へ費用の一部を補助します。

120万円

チャレンジショップ事業

商店街の活性化対策として商工会が実施する空き店舗を希望者に期間限定で貸すチャレンジショップ事業に対して補助します。

60万円

本庄陸男生誕百年記念事業

小説「石狩川」の著者で本町出身の本庄陸男生誕百年を記念する事業費の一部を観光協会に補助します。

30万円

観光案内板設置事業

JR当別駅南口前に新たに観光案内板を設置する費用の一部を観光協会に補助します。

50万円



ブックスタート推進事業

豊かな感性と情操を育むために、乳幼児検診時に絵本の読み聞かせと絵本を配布します。

30万1千円

人権教育推進事業

小中学生やPTA・育成会などを対象に人権擁護に関する映画の上映と原作者の講演を行います。

94万6千円

子ども出前講座事業

子ども会などからの要望があれば、町内会館などで子ども向けの様々な講座を開設します。

20万円

地域子ども教育推進事業

学校を子ども達の拠点として開放し、スポーツ・文化活動や地域住民などと交流を図ります。

116万5千円



母子通園センター・放課後児童対策事業

保健、医療と連携しながら子育て支援体制を充実させるために、母子通園センター、放課後児童対策事業を教育委員会から福祉部へ所管替えしました。

2,313万1千円

主な拡大事業

支援費支給事業

障害者などの施設訓練支援費等や居宅生活支援費を受ける利用者及び利用数の増加により、支援費支給額の増額をしました。



前年度比5,931万4千円増
総額 2億3,197万9千円

介護保険デイサービス事業

デイサービス事業の利用者や利用回数が増加したことに伴い、20名定員を25名に拡大し利用者の利便性を図りました。



前年度比 270万9千円増
総額 2,783万3千円

心身障害者対策事業

心身障害者の医療費受給が増加していることに伴い医療費を増額しました。

前年度比 617万円増
総額 8,853万7千円

児童手当

国の制度改革により、児童手当該当年齢が小学3年生まで拡大します。



前年度比3,640万2千円増
総額 1億113万3千円

緊急地域雇用対策推進事業

今までの緊急雇用対策の2事業に加えて、町内企業の雇用対策として放置廃棄物撤去事業を実施します。

前年度比 163万4千円増
総額 1,072万3千円

農業農村整備事業

(地域用水機能増進事業)

昨年からの地域用水機能の増進と農業景観の整備保全に配慮した地域づくり推進事業として進めている水田発祥の地の記念碑や公園整備などが着工します。

前年度比2,866万8千円増
総額 3億5,814万1千円

主な見直し事業

「事業の縮小」

町内会運営費補助事業

昨年に引き続き、地域集会施設運営費や街路灯維持の補助率の見直しを行いました。



前年度比 322万8千円減
総額 1,186万6千円

雪対策事業

生活道路などを優先した、除雪路線の見直しを行いました。



前年度比 4,283万3千円減
総額 2億1,876万7千円

資源回収奨励補助金

リターナブルびん・アルミ缶・新聞紙などの回収量に対して交付する奨励金を、1kg当たり4円から3円に見直しを行いました。

前年度比 28万3千円減
総額 227万7千円

「経常経費の削減」

- ❖ 特別職期末手当減額
 - ❖ 職員の期末勤勉手当減額
 - ❖ 特別職、一般職の石狩管内及び本町と隣接市町村への出張日当旅費廃止
 - ❖ 各種委員会の研修視察の見直し
 - ❖ 事務用品・燃料費などの需用費の見直し
 - ❖ 各種団体などの補助金・負担金の見直し
 - ❖ 委託業務の見直し
 - ❖ 各施設管理費の見直し
- ### 「事業の休止・廃止」
- ❖ 敬老祝い金の廃止
 - ❖ 人工透析者が通院に使うタクシー利用券と町外通院者交通費の助成廃止
 - ❖ 亡くなられた方の遺族に支給していた弔慰金を廃止
 - ❖ 農業センターを休止するに伴いファミリー農園を廃止



市町村合併

経過報告⑩

2 町村による法定合併協議会設置の議会提案を見送り

当別町長は、2月17日に月形町長から正式に当別町と新篠津村の法定合併協議会（以下「協議会」という。）に参加したい」との申し入れを受けたことから、23日と3月1日に新篠津村長と協議会設置に関する協議を行い、次の理由により、2月2日に合意した2町村による協議会設置を優先させてほしいことを説明しました。

- ① 合併特例法の期限まで、1年余りとなり、事務事業一元化の協議をはじめ、早急に協議会を設置する必要がある。
- ② 3月議会までに、2町村から3町村へと協議会設置の提案内容の変更について、町民に対して説明する時間があまりにも少ない。
- ③ 月形町民が当別町と新篠津村との合併について、合意が得られているのか不明である。

しかし、新篠津村長は、「村民が3町村による協議会の設置を望んでおり、3月定例議会に2町村だけの協議会設置の議案を提案しない」とのことでありました。当別町としても3月定例議会へ2

町村の協議会設置に係る提案を見送らざるを得ませんでした。

当別町では町民の皆さまへ、月形町の再度の参加と協議会の設置をはじめ今後の進め方を説明するため、3月から、各町内会の総会に合わせ懇談をスタートさせました。

新篠津村長より、突然、合併協議を白紙に戻す旨の説明

3月19日、新篠津村長が来庁され、「これまでの合併協議を白紙に戻したい。新篠津村は、合併しないのではなく、3町村の枠組も含めて、再度、合併問題を考えていきたい」と説明があり、理由として村民から、次のような意見があるのとこのことでした。

- ① 町村規模の問題が大きく、対等とはいえず当別は呑み込まれてしまう。
- ② 合併については、もっと時間をかけて論議してもよい。

当別町長は、月形町の再参加など3町村での合併に向けた町民説明を実施している時に、合併協議を白紙に戻すことについては、2町村長だけで決められる問題ではないとし、早急に3町村長会議を開き、協議する必要があると提起し、3月26日に3町村長会議を開催することとしました。

この会議内容は、町ホームページと来月号で詳しくお知らせします。

お答えします「町長への手紙」

私の意見・私のアイデア

質問 六軒町から小学校までの間、歩道がなくて子どもの通学がとても危険です。いつになったら歩道ができるのですか？

いまだに下水道も来ていません。どうして同じ町でこんなに差があるのですか？人口が2万もいるのに、平均的な整備はできないのですか？

お答えします 町では、道路・水道・下水道など住民生活に必要な整備については計画的に進めています。ご質問の文面からは場所の特定ができず、町の道路整備計画や下水道処理区域であるかの確認をすることができませんが、これらの整備には多額の費用が掛かり、短期間には難しいことから町では、優先度を見極め年次計画に基づいて整備を行っているところで

質問 以前役場にあった苦情箱はなぜなくなったのですか？

再度設置をして住民の意見・苦情などを入れられるようにして欲しいのですが。

お答えします 以前役場などに設置していたものは、苦情のための箱ではなく広聴箱というものです。これは、現在行っている『町長への手紙』と同じ趣旨で、町政への提言、提案、意見などを投函するためのものであり、決して苦情箱的な役割で設置していたものではないことをご理解ください。

また、町内の限られた施設に広聴箱を設置するだけでは、事情があって直接来れない人など、アイデアや意見が広く聞けないので、手紙形式の用紙を広報誌に折り込むことで、多くの方の考えをお寄せいただいています。

質問 役場前の踏み切りは、遮断機が長時間降りていて交通渋滞の原因を作っている。なんとかありませんか？

お答えします 役場の東側の踏み切りは、小学校から虹の橋を渡る北栄通と商店街方面からの本通がぶつかり、特に駅からの列車発車時には、待機時間が長く車の渋滞がたびたび見受けられます。

駅付近の踏み切りは列車発車時の安全確保が重要であること、また単線のため列車を別のホームに移す切り替え作業が必要なことなど、他の踏み切りより多くの時間を必要とすることをご理解願います。

町長の日記

16年3月19日(金)

3月8日から2週間続いた定例議会は昨年より財源が少ない予算案だったが良く理解され全員一致で議決いただき新しい助役の人事案件も決まりホッとしたのもつかの間、突然午後から新篠津の加賀谷村長と東出議長が来庁された。何ごとかと思ったら「合併は白紙にしたい」との申し出であった。理由は「大きい当別に新篠津のみ込まれてしまいそうなので、もっとじっくり考えたい」との事である。

私の方は月形を再び入れる為に各町内会毎に説明をしている最中なので大変おどろいた。

昨年七月に当別、月形、新篠津で合併の協議を始めて間もなく月形が抜けたが今年になって又、入りたいと申し込まれたので二ヶ月の余裕をもらってその準備をしていた矢先に今度は新篠津が白紙にしたいと云う。

私は町長に当選した頃、合併は念頭になかったが間もなく、町村合併を検討しないのはいけないと考えて準備にかかり、昨年夏から三町村で協議してきたが「町長は少し弱腰でないか」と云われても当別町は大きいのだから控えなければと思って、対応していたつもりだった。

職員も一枚岩だったし、議会も良く相談に乗ってくれたからこの件では当別町としては足並みは揃っていたと思うだけに本当に割り切れない思いだ。

新聞が当別町長が月形を"拒否"したとか月形"抜き"とニュアンスの違う強烈な記事を書いた事だけが原因だろうか？

私の何かが足りなかったのだろうか？

自分自身で答えを見つけなければならない日がこれから続く。

「雪の少ない年は春が早いとは限らない」と云っていた故人の話を思い出す。

当別町長泉亭俊考

就任ごあいさつ

当別町助役 佐々木 保

(ささき たもつ)



このたび、4月1日付けで、北海道総合企画部参事から助役に就任いたしました。

法定期限があと1年と迫った町村合併問題や地方交付税、国庫補助金の大幅な削減による危機的状況にある財政の抜本的な立て直しなど、一刻の猶予も許されない重要課題も山積していますが、地方分権などによる変革の時代にあって常に俊敏に対応し、町行政の推進に努めて参りたいと考えています。

また、泉亭町長が目指す「環境に配慮した美しいまちづくりの推進」や「新しい農業政策の確立」など、微力ではありますがこれまでの経験を生かして、誠心誠意取り組む所存でございます。

皆さまのご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます、就任のごあいさつといたします。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【経歴】

昭和26年10月生まれ・函館市出身

平成元年5月 日高支庁地方部振興課市町村係長

3年6月 北海道総務部税務課主査

5年4月 北海道企画振興部地域振興室地域調整課主査

6年11月 北海道企画振興部交通対策課総合交通係長

9年6月 北海道総合企画部地域振興室市町村課主幹

10年9月 石狩支庁地域政策部地域政策課長

12年4月 北海道総合企画部地域振興室市町村課主幹

15年6月 北海道総合企画部計画室主幹

16年3月 北海道総合企画部参事

退任にあたって

前助役 谷本 辰美



このたび、3月31日付けをもちまして助役を退任させていただくことになりました。

在任中の2年7カ月間、町長をはじめ議会の皆さま、町民の皆さまには本当に並々ならぬご指導とご支援、ご協力を頂き心から御礼申し上げます。

これからも当別町の益々の発展と、皆さまのご健勝を心から祈念申し上げます退任のごあいさつとさせていただきます。

100年の歴史に幕川下小学校閉校

川下小学校で最後の卒業証書授与式が行われました。

同校最後の卒業生となった4人は、在校生の演奏と父母が見守る体育館へ緊張気味に入場。伊藤校長が一人ひとりに卒業証書を授与し「川下小学校での経験と思い出を誇りに目標に向かって行ってください」とはなむけの言葉をかけました。

また、引き続き行われた閉校式で、児童を代表した葛西浩幹君は「いままでの数々の思い出が浮かび上がります。地域の方がプレゼントして下さった東京見学旅行は一生の思い出になりました。ぬくもりのある校舎を忘れることなく10年後には9人全員でタイムカプセルを開きたい」とあいさつしました。

その後、校旗が 橋教育長に返納され、川下小学校は静かに100年の幕を閉じました。(3月20日)



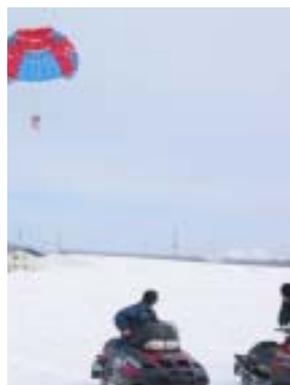
広報誌で紹介した写真を希望者に提供します。

●お申し込み●

秘書課広報広聴係 ☎ 3-3069 へ



青年会議所とスノーモビルクラブが企画したパラセーリング体験に児童は大喜び！！(3月7日)





当別のお米はおいしい！試食会を開催

町米麦改良協会が主催し田西会館で行われた新米の試食会に、地域の育成会の子も25人を含む約100人が参加。当別産「有機米」と「ななつぼし」、新潟県魚沼産「コシヒカリ」の3種類を食べ比べました。

参加者は、においや粘りを確かめながら試食をして、おいしいと思う順番に評価。子どもと大人それぞれの集計結果は、どのお米にも差がつかず、当別産米はコシヒカリとそん色がなくとも味が良いといえます。

また、普段から当別産米を食べている人が多く家庭に最も浸透していました。

試食後にはいもだんご汁、おにぎり、長野パン教室の角食、レインボークラブのニンジンジャムなどで昼食を楽しみながら、農業改良普及センター辻敏昭さんによる「おいしいお米の話」や子ども達参加のお米に関するクイズが行われました。(2月28日)

三味線の音色に魅せられる

「障害を持った方と健常者が一緒に楽しめるコンサート」を目指し北海道医療大学生や社会人で構成したハートfeelingコンサート実行委員会(千葉ルミ委員長)が、三味線奏者の白田路明さん(登別市在住)を招いて演奏会を開催。



学生ボランティアグループ「ゆうゆう24」や小中学生のジュニアリーダーが描いた水墨画の作品が会場内を飾り、力強い津軽じょんがら節の演奏や楽しいトーク、自らのオリジナル曲などを披露しました。

会場を埋めた約250人の子どもから高齢者、障害をもたれた方が一体となる楽しいステージとなりました。

また、この日の日中に行われた「ボランティアの集い」でも白田さんの講演が行われ、三味線との出会いや体験談を話されました。(3月6日)



当別を学ぶ「鮎田塾」

町民に、もっと当別を知ってもらおうと商工会が主催した「鮎田塾」。

「あえ〜る」で3月3日から3夜連続で開催し、延べ100人が受講しました。

3日間に4人の講師が講演、泉町長はこれからの農村づくりを語ったほか、「石狩川」の町民演劇公演を企画している武田龍太郎準備委員長が公演内容の説明など町民に参加を呼びかけました。また、坂田資宏町歴史研究専門員が岩出山の富豪、「手島家のこと」を、当別新聞を発行している清水三喜雄さんが歴史を学ぶ楽しさを講演するなど当別の歴史とこれからの当別を探る会となりました。(3月3日〜6日)

永年勤続を称え90人が受賞

町商工会(河村佳男会長)は、町内事業所の永年勤続優良従業員表彰を商工会館で行いました。

河村会長は「これまでに培われた経験を益々発揮してください。商工会は地域に夢を企業に繁栄を望んでいます」とお祝いの言葉を述べ、勤続年数5年ごとに40年勤続者まで90人に賞状と記念品を贈りました。

併せて、勤続20年の方は道商工会連合会から、勤続30年の方は全国商工会連合会から表彰状が贈られました。また、勤続20年以上の方に泉町長から感謝状が贈られました。

受賞者を代表して高橋二三雄(大栄工機株)さんは「今日まで勤務できたのは先輩・上司の指導があったからです。当別町が明るく住みよいまちを目指しこれからも頑張りたい」と感謝の言葉を述べました。



(3月2日)

《文化部門【個人】》

第34回全道書道コンクール特別賞	中出萌絵美（当別小1年）、稲井莉捺、刑部香織（同2年）、中島亜里沙（同4年）、林健太郎、櫻井紀栄（同6年）
第35回全国学生書道展覧会記念賞	藤原千咲（当別小2年）、鹿野夢見（西当別小1年）、齋藤麻衣（西当別中2年）
平成15年用国土緑化運動・育樹運動標語（国土緑化運動）入選	葛西知紗都（川下小4年）
第17回全道中学生の税をテーマとしたポスター北海道知事賞入選	飛鳥優貴奈（弁華別中2年）
平成15年度国際ボランティア作文コンクール（小学生高学年部門）文部科学大臣奨励賞	吉嶺朝葉（西当別小6年）
第3回東日本学校吹奏楽大会コンクール（C編成の部）金賞など	中村麗霞、棚村遼太郎、澤田詩織、岡本晃光、内藤千草、浪岡博子、高井柚花、舩山裕子（当別中1年）、畑野成美、横内杏里沙、岩崎祐哉、富士本優、佐藤彩香、二木詩織（同2年）、山下揮久、藤原えりか（同3年）
第18回全道リコーダーコンテスト（重奏の部B）金賞	望月千尋、今井智美、三浦麻衣（弁華別中2年）

《スポーツ部門【個人】》

少林寺拳法第24回北海道大会（小学生四級の部）最優秀賞	阿部由季（西当別小3年）
2003年少林寺拳法全国大会（中学生団体の部）優秀賞など	松田徹優（西当別中1年）
第18回北海道スポーツ少年団剣道交流大会（札幌市選抜A）団体優勝	南部善（西当別小4年）



スポーツ賞

スポーツ分野の全道・全国大会で
優秀な成績をおさめた団体と個人。
(1団体23個人)

受賞者を代表して・・・

ソフトテニス・福井由紀子さん

スポーツが好きで、中学、高校、社会人と続けてきた。スポーツは日々努力の積み重ね。学生のみならず社会人になっても続けていってほしい。



【団体】

第39回北海道ソフトボール選手権大会兼 第22回北海道高等学校ソフトボール大会兼 第22回全国高等学校ソフトボール選抜大会 北海道予選会第2位	当別高等学校ソフトボール部
--	---------------

【個人】

第39回北海道ソフトボール選手権大会兼 第22回北海道高等学校ソフトボール大会兼 第22回全国高等学校ソフトボール選抜大会 北海道予選会第2位	永井美也子、袴田美穂、小滝郁美、菅原裕子、澤岡茜、笹川知世、川口祐佳、大川有希、田澤瑠衣、大澤由衣、田河幸恵（当別高校）
第58回国民体育大会秋季大会出場など （種目：ソフトボール）	才田麻衣子（当別高校）
第58回国民体育大会秋季大会出場（種目：ソフトボール）	小泉幸代、澤岡悠、加藤優花、伊藤舞、荒川尚子（当別高校）
第21回全日本バウンドテニス選手権大会（女子ダブルスシニア）出場など	鈴木貞子
同選手権大会（男子ダブルスミドル）出場など	平塚勝美、館田政幸
同選手権大会（女子シングルスフリー）出場など	猪狩薫、加我京子
第58回国民体育大会秋季大会出場など （種目：ソフトテニス）	福井由紀子

青少年善行賞・教育奨励賞 スポーツ賞

平成15年に活躍した青少年やスポーツ分野で顕著な成績を取めた団体や個人に贈る「当別町青少年善行賞・教育奨励賞・スポーツ賞授与式」が行われました。会場となった「ゆとろ」では、来賓や父母らが見守るなか、受賞者は泉亭町長から賞状や盾、メダルが渡され功績がたたえられました。

(受賞者の敬称略)



青少年善行賞

各地域や学校で、他の模範となる活動をした団体や個人。(5団体2個人)



受賞者を代表して・・・
当別高校国際協力クラブ・
湯浅友美さん

先輩方が頑張ってきたものを引き継いできた。地味な活動だけでもこれからも皆さんに協力してもらって頑張っていきたい。

【団体】

当別高等学校 国際協力クラブ	国際的ボランティア活動として難民募金を実施。夏至祭で無農薬バナナを販売し安全な食への取り組みを行った。
東裏小学校児童会	ユニセフへバザーの益金を募金。車椅子を寄付する一助としてリングプルの回収。学校付近の美化活動の積極的な取り組み。
当別サッカー スポーツ少年団	末広団地に住んでいる80歳以上の高齢者や独居者・身障者世帯の除雪ボランティア活動。
中小屋中学校生徒会	緑の羽根募金活動、駅・国道クリーン作戦など公共公益施設の清掃やゴミ拾い。 小学校・PTAと協力して取り組みを行ったリサイクル運動。
当別小学校 水やりボランティア	美しい町づくりのため、6年生の大勢がボランティアで花を育て、水やりや花の手入れを続け、全校児童や地域の皆さんの目を楽しませました。

【個人】

高橋沙綺 (当別小6年) 飯塚美咲 (当別小5年)	当別駅付近で倒れた老人を、2人で起こし上げ、両腕を支え助け、大人に介助をお願いした。進んで人助けする誠実さと責任ある行動が模範となる。
------------------------------------	---

教育奨励賞



文化、スポーツなど全道・全国規模で優秀な成績を残した小中学校と児童生徒。

(文化部門3団体31個人 スポーツ部門3個人)

受賞者を代表して・・・
当別中学校吹奏楽部・藤原えりかさん

充実した活動が出来たこと、温かい声援をいただいたことに感謝しています。これからも夢と希望をもってさらに頑張っていきたい。

《文化部門【団体】》

第35回全国学生書道展覧会(学校の部)団体優勝など	当別小学校
第3回東日本学校吹奏楽大会コンクール(C編成の部)金賞など	当別中学校吹奏楽部
第18回全道リコーダーコンテスト(重奏の部B)金賞	弁華別中学校音楽部



まちなみ・ひとなみ・チョットいいまち

女性のつどい

～おんなのまち当別を考えて～

ふれあい
かかわりあい

当別町教育委員会
☎ 3-2689

3月3日
西当別コミセン

町女性団体連絡協議会が、「当別町女性のつどい」を開催し、約200人が参加しました。

町教育委員の白井應隆おうりゅうさんは、「ちょっとステキなまちづくり」と題し、まちづくりの根底は人づくり、真の思いやり、やさしさが必要と講演。

また、商工会女性部長の石本留美子さんは、「たかがいもだんご汁、されどいもだんご汁」で全国主張発表大会最優秀賞を受賞したことを報告。「自分達の町を元気にするには、自分達で考え行動を起こすこと」と話し「いもだんご汁」を商品化したエピソードを紹介しました。最後に当別音頭を全員で踊り、楽しく交流しました。



1月24日・2月7・8日
西当別コミセン

当別を学び当別を考える「当別学講座」



町教委主催により、まちづくり・ボランティア・健康づくりのさまざまな角度から当別を学び当別について考えようと、道医療

大の教授らを招き講演。

同大歯学部江口教授は、「町民が、当別の過去から未来を共通して知ることが大切。町民としての自分史を今一度見つめ直そう」とまちづくり教育からの当別学を講演。

また、同大歯学部の千葉教授は、当別町2万人歯の健康を推奨し、80歳まで自分の歯を20本残そうと講演。

学生ボランティア「ゆうゆう24」の大原代表は、「ボランティアは自分の判断ではなく相手の求める視点で行うことが大切」と、各講師の身近でわかりやすい説明に受講者は、熱心にメモを取っていました。

1月25日～31日
西当別コミセン

西当小の子ども達が通学合宿

町教委と、実行委員会（立川一美委員長）による、6泊7日のビッグファミリーふれあい合宿in西当別。

4年生から6年生22人が親から離れ西当別コミセンで集団生活を送りながら通学し、炊事、洗濯、掃除、買い物の生活体験や地域の人たちとの交流学習を行いました。

地域の大人や学生ボランティア、ジュニアリーダーも加わり、そば打ち、天体観測、絵本の読み聞かせ、いもだんご汁作りなど、盛りだくさんのプログラムに取り組みました。

子ども達は、「炊事、洗濯などお母さんのありがたみが分かった」などと感想を話していました。



2月28日
総合体育館

遊びの中で体力づくり

管内スポーツ少年団連絡協議会と町スポーツ少年団本部は、管内スポーツ少年団地域交流事業を開催。

当別からは、サッカー、柔道、卓球の各少年団から43人が参加しました。



インストラクターの指導の下、ケンケン鬼ごっこやボールゲームなど、みんな汗だくになるほど、元気いっぱい飛び回っていました。

2月7・8・11日
総合体育館

ドリブルシュートに熱い声援

町教育長杯ミニバスケットボール大会兼札幌地区新人戦大会が開催され、36チーム5年生以下の男女506人の選手が出場。選手達はみな引き締まった表情と小学生とは思えないドリブルやパス回しなど、見事な連携プレーを見せていました。

応援に駆けつけた父母ら約700人の熱い声援と選手の果敢なプレーに会場はあふれんばかりの熱気に包まれて



ていました。当別町チームは残念ながら1回戦で敗退。

優勝 男子 恵庭柏少年団
女子 江別野幌レッドブリックス

町民が自発的に学習活動を企画

・「カラオケ教室」 ・「特別支援教育ってな～に」

実施団体と町教委主催による自主企画講座を開催。小林房恵さんが発起人代表となり、2月18日から4回、世紀会館で「カラオケ教室」を実施。

「にちおん歌謡学院」から講師を招き、詩の解釈や基本的な発声法など59人の参加者が楽しく学習しました。

この講座をきっかけにサークル活動に結びつけたいと意欲を示していました。

また、2月21日、「萌木の会」が西当別コミュニティセンターで障害のある子ども達にどんな支援や教育が必要なのか、「特別支援教育ってな～に」を企画し、97人の参加者は道立特殊教育センター矢口室長の実例を交えた講演に、耳を傾けていました。



(カラオケ教室)

1月30日
中小屋中学校

料理研究家を招き食を学ぶ



テレビどさんこワイドでおなじみの星澤幸子さんが「食と料理に学ぶこと」と題し、中小屋中の生徒を対象に講話した道徳授業。これには中小屋小の児童や地域の人達も参加しました。

「長い間に培われた日本の食事は美しい。おいしいと感じることは体が健康ということ」など、食と健康のつながりや、元気なことの大切さを訴えました。

また、住んでいるところの食物が一番、当別の人には当別のものを食べようと、講師のわかりやすい軽妙な話し方に生徒達は引き込まれていました。

生涯学習推進計画がスタート



平成15年6月に公募委員3人を含む21人で策定委員会が発足しました。以来、延べ18回の会議を積み重ね、2月16日、橋教育長に5カ年を期間とする計画の報告がされました。

サブタイトルを「とうべつ まなびプラン21」と設定し、計画の基本理念を「みんなの学ぶ樹をはぐくむとうべつ」としています。

これは、みんなで生涯学習社会を樹立する、学びの木の根を育むなどの意味があります。

生涯学習を推進するため、学校、地域、家庭が協力し合い「何を指し、何をするのか」を具体的に示した計画となっています。

計画の閲覧は役場、総合体育館、公民館でできます。

学校開設のホームページを 見てみませんか

- 当別小学校 <http://www.infosnow.ne.jp/toubetsu-syo/>
- 蕨岱小学校 <http://www8.ocn.ne.jp/warasho/>
- 西当別中学校 <http://www.infosnow.ne.jp/nishito-chu/>
- 弁華別中学校 <http://www.infosnow.ne.jp/ben-chu/>



介護

介護保険料の納付のお知らせ

介護保険料は、前年の所得や世帯の町民税課税状況に応じて決まります。所得や課税状況が確定するのは7月頃になり、その後、平成16年の保険料額が決定します。なお、保険料の納付は次のとおりになります。

特別徴収（年金からの天引き）で納めている方

保険料額が決定するまでの期間（4月、6月、8月の年金支給時）は、2月分と同額を納付していただきます。

その後、今年度の保険料額が決定しましたら、10月以降に残りの金額を納付していただきます。

普通徴収（納付書又は口座振替）で納めている方

4月から6月は、保険料を納める期間になっていません。

7月頃に納付書を送付しますので、各納期限までに納めてください。

なお、口座振替をご利用の方には納付書は送付しません。各月末日に指定金融機関より自動引き落としとなります。

問合せ 福祉課介護サービス係
（「ゆとろ」内・☎3-3029）

子育て中のお母さんを
支援します

地域子育て支援センター

いつでも利用できます
お気軽にご相談を！

☎ 電話相談 保育所のベテラン保育士が
子育ての相談に応じます

👥 サークル 子育てサークル
支援 活動を支援

▼相談日と相談時間

- ① 西保育所～毎週水・木曜 10時～11時30分（末広・☎3-3744）
- ② ふとみ保育所～毎週月・金曜 10時～11時30分（太美町・☎6-2353）

あそびのひろば 親子で遊ぶ楽しさを体験

開催期間 5～7月＝第1期 9～11月＝第2期
2月子育てサロン＝第3期（本町地区で3回）

- ♡おもちゃや絵本の貸出しなど。
- ♡サークル活動でお困りの相談ごとに応じます。

詳細 西保育所・ふとみ保育所



第1期募集内容

「より楽しく遊ばせたい・よその子と遊ばせたい」とお考えのお母さんは、是非参加を！

参加対象 受け付けの時点で満1歳6カ月から4歳未満の児童と母親。

募集人数 両会場・各コースともに親子15組

会場と日程

本町地区「ゆとろ」ほか

火曜コース 5月11日～7月27日（毎週火曜）

金曜コース 5月7日～7月23日（毎週金曜）

西部地区ふとみ保育所

水曜コース 5月12日～7月28日（毎週水曜）

木曜コース 5月6日～7月22日（毎週木曜）

各コース全12回開催、10時～11時30分

参加費（保険料）親子1組＝500円

申込期間 4月19日（月）～24日（土）（受付は9時～15時）

詳細・申込 本町地区＝西保育所（☎3-3744）西部地区＝ふとみ保育所（☎6-2353）

譲ってください。鯉のぼり！

町民に河川に親しんでもらおうと、花壇を設置するなどのボランティア活動を行っているLove!パンケ（辻野浩代表）では、今年も本通橋付近に鯉のぼりの設置を計画しています。

皆さんの自宅物置で使わずに眠っている鯉のぼりがありましたら、是非、譲ってください。

問合せ・受付先 あえ～る（☎5-5116）



4月20日（火）～30日（金）

春の火災予防運動

一人暮らしの高齢者のお宅や防火対象物の査察、火災予防の巡回広報、各種行事で防火の呼びかけを行います。

とろべつ 消防まつり

とき 4月25日（日）
10時～12時

ところ 当別消防署庁舎前（錦町）

❖雨天時も実施します❖

当中吹奏楽部の防火ミニコンサート・防火縁日・各種体験コーナーなど



募集

募集します
保健事業従事者

応募資格 満60歳までの保健師か助産師または看護師の資格を有する方

募集人数 1名

勤務期間 4月から平成17年3月まで(月に4~5日間)

勤務時間 8時45分から17時15分まで

勤務先 ゆとろ(西町)

業務内容 機能訓練事業、健康相談、予防接種業務、乳幼児健診、エキノコックス症検診

月額賃金 9,600円

応募書類 履歴書・免許書の写し・本人の住民票

応募締切 4月23日(金)

申込・詳細

福祉課保健サービス係
(「ゆとろ」内・
☎3-2346)



保健所

ゆとろでの臨時受付窓口を
廃止します

総合保健福祉センター「ゆとろ」に開設されていた「江別保健所臨時受付窓口」(毎週火曜午後)は、3月31日をもって廃止になりました。

臨時窓口を利用されていた方は、江別保健所をご利用ください。

問合せ 江別保健所(江別市錦町4番地1・☎011-383-2111/FAX 011-383-2185)

江別保健所石狩支所(石狩市花川北7条1丁目・☎0133-74-1142/FAX 0133-74-1147)

健康

春です！一緒に始めませんか
健康運動相談

春は何か新しいことを始めたい季節。「雪が解けたら、外を歩こう。運動を始めよう！」と春を心待ちにしていた方、多いのではないのでしょうか？

健康運動指導士があなたに合った運動プログラムを作り、健康づくりを応援します。

ご希望の方は、3カ月間を目標に運動メニューに沿って、「ゆとろ」で運動を継続できます。

また、保健師・栄養士も健康づくりのお手伝いをします。

対象者 生活習慣病予防やダイエットのために運動を始めたい方

日程 4月16日(金) 5月28日(金) 6月18日(金)

時間 9時30分~11時30分
(待ち時間短縮のため、指定時間を連絡します。)

会場 ゆとろ(西町)

内容 運動プログラム作成とアドバイス、体重・体脂肪・血圧測定、柔軟性・持久力などの体力測定。(必要者には栄養相談を実施)

申込・詳細 福祉課保健サービス係(「ゆとろ」内・☎3-2346)

募集

リハビリ教室に
参加しませんか

町が行っている「リハビリ教室」は、体の機能維持や日常生活の拡大、社会参加を目的に実施しています。対象になる方は、是非参加してください。

対象者 脳卒中後遺症や神経難病などで、退院後も継続して機能訓練が必要な方。(ただし、介護

保険の「通所サービス」を受けている方は対象外です。)

開催日 4月14日(水)

(毎月1回開催。開催日は毎月広報に掲載。)

時間 10時30分~14時30分

会場 ゆとろ(西町)

内容

集団~体操・レクリエーション・創作活動などを通したりハビリ。言語聴覚士によることばの教室。様々なサービスの活用法や生活の中での工夫点の情報交換。

個別~作業療法士・言語聴覚士からの家庭で行えるリハビリ方法。生活の仕方のアドバイスなど。

その他 必要に応じて送迎あり。

申込・詳細 福祉課保健サービス係(「ゆとろ」内・☎3-2346)

脳卒中など同じ病気を持つ仲間との交流や親睦を図りたい方を対象とした「ねこやなぎの会」へのお問い合わせ・申込みも上記まで。

60歳を過ぎたら、お友達を誘って
ことぶき大学に参加しませんか
楽しく学びましょう○

・体験活動ができる「趣味の講座」
・健康・生きがいづくりの「講演会」
・見聞を広げる「視察研修」など。

○期間・日程・場所○

期間 5月~平成17年3月

日程 毎月第2金曜 10時~12時

場所 公民館

内容により、日程や場所の変更があります。



○定員 40名

○受講料 無料(保険料、材料費、旅費は個人負担。)

○申込期限 4月28日(水)

○詳細・申込 公民館(☎3-2511)

募 集

旧川下小学校施設の 利用希望者を募集します

町では3月31日に閉校した川下小学校の校舎、屋内体育館、グラウンド、教員住宅の利用を希望する方を募集します。

旧川下小学校所在 当別町川下
755 番地 10
応募期限
4月30日
(金)



申込方法

役場財政課で示す貸付応募要領を承知した上で、次のものを提出してください。

- ①貸付申請書 ②施設の管理・利用計画書

詳細 財政課管財係 (☎ 3 - 2331)

補 助

活用しませんか 町の人材育成基金

町では、町内または町内事業所に1年以上引き続き在住もしくは勤務している方や、これらの方で構成する団体が企画する事業に「人材育成基金」から補助します。

対象事業・補助額

①調査研修事業

教育・文化・産業などの分野で自己形成のテーマにより行う国内外研修事業。

②交流事業

スポーツや文化活動を通じ、国内外の人たちとの交流事業。

〔補助額〕 とも交通費・宿泊費など必要と認められる経費の3分の2以内。(個人は国内10万円・国外50万円、団体は50万円が限度)

③講演会等事業 (団体のみ)

地域活性化の促進や文化・教養

を高める講演会などの事業。

〔補助額〕 会議費など必要と認められる経費の2分の1以内。(50万円が限度)

④高校生短期留学ホームステイ語学研修 (個人のみ)

英会話能力向上のため、町が指定するコースにより英語圏の国で行うホームステイ語学研修。

〔補助額〕 指定するコースの参加費用などの2分の1以内。(50万円が限度)

⑤海外農業視察研修事業

農業経営に係る能力向上のために、諸外国での農業を主とした生活文化などの研修事業。

〔補助額〕 交通費など必要と認められる経費の2分の1以内。(50万円が限度)

募集期間 年3回(4月・8月・12月)。申請書は、事業実施予定日の2カ月前までに提出してください。

申請・詳細 企画課企画振興係 (☎ 3 - 3042)

募 集 青年海外協力隊 シニア海外ボランティア 日系社会青年ボランティア

国際協力機構(JICA)では、青年海外協力隊員などを募集しています。

募集区分 ■青年海外協力隊(満20~39歳) ■シニア海外ボランティア(満40~69歳) ■日系社会青年ボランティア(満20~39歳)

募集期間 4月10日(土)~5月20日(木)

派遣期間 1年または2年間

募集説明会 4月17日(土)から全道で7回開催(札幌市内5回)

問合せ先 JICA札幌(☎ 011-866-8393)

ホームページ

<http://www.jica.go.jp>

生産者と消費者の顔が見える関係

大豆採らすと 会員募集!!



「札幌圏の大豆採らすと」は、消費者と生産者が安全な大豆づくりのため腕を組みました。

会員になると農作業やイベントを通して生産者と交流しながら、秋には大豆を受け取ることができます。

札幌圏8市町村の生産者が減農薬・低化学肥料で丹精こめて育てた安全な大豆、「大豆採らすと」に参加して応援しませんか?

「大豆採らすと」のしくみ

①会費 一口4,000円です。これで大豆(約6kg)を受け取る権利ができます。

②大豆畑 8地域(札幌市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村)から参加したい地域を選ぶことができます。各地域とも先着30名限定ですのお早めに!

③大豆の受取 大豆6kg
大豆3kgと味噌1kg
(か のいずれか一方)

会員になるには?

電話で申し込みしてください。「札幌圏の大豆採らすと」の詳細資料を送付します。会費の振込みをもって会員となります。

申込受付期間

4月15日(木)~22日(木)
9時~17時(土・日曜は除く)

問合せ・申込先

札幌圏の大豆採らすと実行委員会事務局(「札幌広域圏組合」内)
☎ 011 - 290 - 1313)

ホームページ

<http://www.kouiki.chuo.sapporo.jp/>

登録

あなたも国際交流を楽しみませんか？



町では、最も身近な国際交流ができる次のボランティア登録を受け付けています。

①ホストファミリーボランティア

日本の生活を体験したい外国の方を家庭に受け入れて、お互いに交流を深めていただきます。

【ホームステイ受け入れ交流】

札幌圏ホームステイ交流協会と各市町村、大学が連携しながら、外国人留学生や社会人（日本語があまり話せない方もいます）が、希望する時期に道内各地でホームステイを体験するものです。外国の方が地域の人々とふれあいながら、日本の生活・自然・文化を直接体験し、受け入れる家庭の方も国際交流を体験できます。ホームステイ期間は3日程度です。

②外国語ボランティア

当別に来る海外の方の歓迎会や視察の際に会話をサポートしていただきます。

外国語を日常会話として話せる方が対象です。

登録先・詳細 企画課企画振興係（☎3 - 3042）

募集

登録が必要です
学校体育館の利用団体

町教委では、学校開放事業として小中学校の体育館を利用する団体を募集します。

なお、利用団体は登録が必要です。

対象 町内に在住する大学生以上で、構成員が10名以上の団体とスポーツ少年団

利用期間 5月から平成17年3月（学校の都合などで利用できない

日もあります）

利用可能な体育館 当別小学校 西当別小学校、西当別中学校、弁華別中学校

開放時間

当別小学校⇨18時～21時

その他の学校⇨19時～21時

料金 無料

登録方法 総合体育館に備え付けの登録用紙に必要事項を記入の上、4月16日（金）までに提出してください。

詳細 町教委社会教育課スポーツ振興係（「総合体育館」内・☎2 - 3833）



国保

半額助成に変わります
国保加入者の検診料助成

町の国民健康保険が国保加入者に助成していた、がん検診などの検診料の助成額が今月から変わります。今回の変更で受診時に自己負担が生じますが、助成対象の検診種類を拡大して、より多くの加入者に受診していただくことができるようになりました。検診を受けるときは、受付窓口で自己負担金を納めていただくこととなりますが、ご理解をお願いします。

変更の対象になる検診

◆がん検診～受診料の全額助成から半額助成に変更

◆短期人間ドック～助成金額を20,000円から15,000円に変更（検診料の半額を助成）

新規に対象となる検診

◆基本健康診査・肝炎ウイルス・マンモグラフィー～自己負担額の半額を助成

詳細 住民生活課国保年金係（☎3 - 2467）

年金

国民年金保険料は
定額で月額13,300円

今年度の国民年金保険料は、定額で月額13,300円、付加保険料は400円です。また、1年分（4月分～平成17年3月分）・半年分（4月分～9月分）の保険料をまとめて4月30日までに納めると割引となりますので、お得な前納制度をご利用ください。

4月上旬に届く納付書で金融機関、郵便局、コンビニ、社会保険

事務所で納めることができます。（一部、取扱いできないコンビニもありますので、納付書の裏面をご確認ください。）

役場窓口年金相談日

4月14日・28日の水曜日
役場1階国保年金係へお気軽にお越しください。
年金保険相談所の開設
主催 札幌北社会保険事務所
日時 4月20日（火）
10時～15時
場所 商工会館（錦町）

	期間	月々納付	まとめて前納	割引額
定額保険料	1年分	159,600円	156,770円	2,830円
	半年分	79,800円	79,150円	650円
定額保険料+付加保険料	1年分	164,400円	161,480円	2,920円
	半年分	82,200円	81,530円	670円

*フラワーマスターとは・・・?

花の育成管理に関する知識や技術・花の扱い方に関する知識を持つ人で、北海道知事の認定を受けています。道内では約1,400名のフラワーマスターが「花壇づくりのデザイン・花種選定のアドバイス・花に関する研修会や講習会」など各地域で花のまちづくりアドバイザーとして活躍中です。

花のエキスパート 「フラワーマスター」 をご存知ですか



フラワーマスター紹介



高木 隼美さん
(弥生)

☒ 土の性質
☒ 差し木・差し芽



菅 純子さん
(六軒町)

☒ ハーブ
☒ ハンギング



森本 茂さん
(獅子内)

☒ 土づくり
☒ 苗づくり
☒ エクステリア



長尾 正枝さん
(弥生)

☒ ハンキング
☒ 花の特性
☒ 花の種子



荒戸 恵子さん
(樺戸町)

☒ 苗のつくり方
☒ 整形花壇
☒ 種のまき方



佐藤 宏司さん
(太美町)

☒ パラづくり
☒ 宿根草



佐藤 さよ子さん
(太美町)

☒ パラづくり
☒ 宿根草

*当別町では・・・

7名のフラワーマスターが、町内会など様々なところで相談、助言、指導をしたりと活躍されています。

もし花に関することでお悩みであれば、何でもどうぞお気軽にご相談ください。

得意分野もバラエティーに富んでいますので、きっと良いアドバイスをもらえるでしょう！

また、花に関する講習会などへの講師依頼も随時受け付けています。詳しくは、下記までご相談ください。

☒ 担当 まちづくり推進課
(☎3-3073/FAX5-5555)

みんなで進めよう、花による 「美しいまちづくり」

わが村は美しくー北海道運動 第2回コンクール開催

北海道の農山漁村において、地域の活性化や個性的で魅力ある地域づくりに貢献した活動を行っている団体は応募してください。

応募対象

《景観部門》 地域の特色を生かし、生活と生産に根ざした景観形成活動。

《地域特産物部門》 地域で生産される農林水産物及びそれらを利用した主として加工品の生産販売活動。

《人との交流部門》 地域の魅力を高めるコミュニティづくりを行う、都市または他地域の人達との交流活動。

問合せ 札幌開発建設部 ☎011-611-0111・内2424)

ホームページ

<http://www.hkd.mlit.go.jp/>

お早めに

労働保険の手続きは5月20日まで

今年も労働保険(労災保険・雇用保険)の確定(平成15年度)概算(平成16年度)の申告・納付時期となりました。

事業主の皆さんは、期間内に手続きをお願いします。

手続期限 5月20日(木) 申告・納付先 最寄りの金融機関・郵便局・労働基準監督署・北海道労働局

問合せ 札幌東労働基準監督署労災第二課(☎011-894-2819)

まず、チェック! 働くルール最低賃金

637円

平成16年3月1日現在の最低賃金は、637円になります。これは、北海道で事業を営む全産業の使用者と労働者に適用されます。

消防

危険物取扱者試験と
防火対象物点検資格者講習

①第1回危険物取扱者試験

■試験種類 甲種、乙種（第1～第6類）及び丙種

試験日 5月23日（日）

試験地 札幌市ほか6市

受付期間 4月7日（水）～15日（木）

②防火対象物点検資格者講習

（4～6月期）

講習日 6月15日（火）～18日（金）の4日間

講習地 札幌市

受付期間 4月19日（月）～5月7日（金）

点検報告をする必要がある防火対象物 不特定多数の人が出入する建物で収容人員300人以上など。

受講資格 防火管理者実務経験が3年以上のほか、多数の要件がありますので、問い合わせください。

詳細 当別消防署消防課指導係（☎3 - 2537）

受験案内

労働基準監督官の
採用試験を実施します

受験資格

①昭和50年4月2日～昭和58年4月1日生まれの方

②昭和58年4月2日以降生まれで次に該当する方

①大学を卒業した方（平成17年3月に大学卒業見込者を含む）

②人事院が①に掲げる者と同等の資格があると認める方

1次試験 6月13日（日）

2次試験 7月27日（火）・28日（水）の指定された1日

試験地 札幌市ほか

受験申込書提出先

北海道労働局総務部総務課（札幌市北区北8条西2丁目1番1 札幌第1合同庁舎）

提出期限 4月16日（金）（当日消印有効）

申込書請求先・問合せ
北海道労働局（☎011 - 709 - 2311）

受験案内

北海道警察官の
採用試験を実施します

受験資格

昭和49年4月2日から昭和58年4月1日生まれで、大学（短期大学を除く）を卒業した方（平成17年3月に大学卒業見込者を含む）

1次試験 5月23日（日）

試験会場 札幌市ほか

2次試験 6月下旬～7月中旬

受験申込先

北海道警察本部採用センター（札幌市中央区北2条西7丁目）

提出期間 4月6日（火）～23日（金）

申込書請求先・
問合せ
北警察署警務課
（☎011 - 727 - 0110）



注意！

鳥類の取り扱いに
ご注意ください

鳥インフルエンザの発生が東南アジアを中心に猛威を振っています。

野外で鳥類を飼っている方は、

次の点に注意してください。

◆野鳥、野生動物をペットの鳥類と接触させない。

◆鳥の餌となるものを野外に放置しない。

死んでいる野鳥を見つけたときは、素手で触らずにビニール袋に入れ、燃えるゴミとして処理してください。

不明な点は、下記へ問い合わせください。

問合せ 環境
対策課環境対策
係（☎3 - 2503）



建築

縦覧できます
建築物の形態基準指定内容

建築基準法の改正により、当別町都市計画区域のうち用途地域の指定のない区域（白地地域）の「建築物の形態基準」が指定され、4月1日から開始となりました。

指定された内容は、次の場所でいつでも確認することができます。

指定内容

当別町都市計画区域のうち用途地域の指定のない区域内における容積率、建ぺい率と建築物の各部分の高さの制限値。

縦覧場所

役場建設部建設課建築係
北海道建設部建築指導課

縦覧できる時間

年末年始、土・日曜、祝日を除く、8時45分～17時15分まで。

問合せ 建設課建築係（☎3 - 3147）



みんなで考えよう

交通安全

春の全国交通安全運動が始まります

春は、新入学（園）
児の季節です。

ドライバーの皆さんに5つのお願い。



- 1 生活道路では特に警戒心を高める
- 2 子どもを発見したら、その反対側にも目を向ける
- 3 止まっている車の陰にも目配りをする
- 4 横断歩道付近は特に注意する
- 5 右折・左折するときは側方にも注意する

春の交通安全運動スローガン

「ストップ・ザ・交通事故死」
～めざせワーストワン返上～

運動期間

4月6日（火）～4月15日（木）

運動の目的

道民一人ひとりに交通安全意識の高揚と、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図る。

重点運動

- 1 子供と高齢者の交通事故防止
- 2 自転車の安全利用の促進
- 3 シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

デイ・ライト（昼間点灯）運動実施中

当別町の交通事故発生状況（概数）
（2月対比）

	平成16年	平成15年	増減数
発生件数	14	21	△7
死者数	0	0	0
傷者数	27	26	1



氏名	父	母	住所
後藤 諒成	柳 忠	知香子	柳 里
池田 優羽	星 公	靖子	美里
高島 日菜	智 公	綾香	権戸町
越後 快音	健 公	佳子	六軒町
友廣 奏太	健 公	佳奈	獅子内
澁谷 拓哉	雅己	里奈	末広

☆当別町社会福祉協議会へ
關トモエさん（下川町）から20万円
清水隆義さん（北栄町）から3万円
吉泉喜久子さん（春日町）から3万円
太田夏子さん（西町）から3万円
弥生ボランティア虹の会、木典子代表から1万円
アジアンスポーツプロモーション（瀬棚町）から1万円
荒谷マツさん（対雁）から雑巾50枚
札幌信用金庫当別支店（園生）からタオル688枚
匿名の方からタオル50枚・バスタオル5枚



戸田紀夫さん（弥生）から当別町指定文化財（伊達邸別館など）保存のために100万円が寄付されました。

ご寄付
ありがとうございます

出生とおくやみ
2月14日～3月13日分

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	世帯主	住所
橋本 明	87	本人	太美町
増田 絹子	48	本人	太美町
伊藤美智雄	71	本人	太美町
吉泉 光徳	78	本人	春日町
反保 武雄	82	本人	春日町
齋藤 俊夫	68	本人	太美町
平原 キエ	89	本人	金沢
川村 ジョウ	86	本人	中小屋
木下 サナ	71	本人	蕨岱
上谷 ヒデア	90	本人	錦町
佐々木 秀子	84	本人	東裏

町政功労者逝去

宇川幸雄さん（西町）
平成16年2月23日逝去（77歳）
昭和59年町政功労者賞受賞

経歴 消防団員として9年間、都市計画審議会委員として17年間、農業生産対策協議会委員として13年間、町有牧野運営委員会委員として8年など、長年に亘り町政発展のために寄与されました。ご冥福をお祈りいたします。

自衛官募集のお知らせ

募集項目	応募資格	受付期間	試験日
幹部候補生	◇大学卒業程度の学力を有し、20歳以上26歳未満の者（22歳未満は大卒（見込含）） ◇大学院修士課程修了者（見込含）は、28歳未満（海上技術幹部候補生は、理学または工学課程修了者に限る）	4月5日（月）～5月10日（月）	1次試験 5月22日（土）・23日（日） ▷23日は飛行要員のみ 2次試験 6月22日（火）～24日（木） 3次試験 7月24日（土）～8月5日（木） ▷3次は飛行要員のみ
2等陸・海・空士（男子）	◇歯科は専門の大学卒（見込含）で20歳以上30歳未満の者 ◇薬剤科は26歳未満、薬学修士取得者は28歳未満	通年受付	受付時に通知

詳細・問合せ 江別募集事務所・☎011-383-8955



法律相談

毎月第1木曜日に実施。
 日時 5月6日
 13時～16時
 申込・詳細 事前に福祉課福祉係(☎3-3019)へ。

心配ごと相談

毎月第2・4木曜日に実施。
 日時 4月8日、4月22日
 13時～16時
 申込・詳細 町社会福祉協議会(☎2-2301)へ。

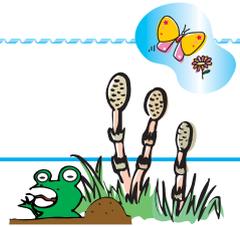
◎会場 ともに「ゆとろ」(西町)

人の動き 3月1日現在 ()は前月との比較

人口	20,343 人 (-43人)
世帯	7,762 世帯 (-17世帯)
男	9,964 人 (-22人)
女	10,379 人 (-21人)

「道民の森」にも春がやってきます

開園日は5月1日



野山の雪どけが進みようやく暖くなりました。「道民の森」も開園準備を進めております。今年もたくさんの皆様のご来園をお待ちしています。

さて、すでにご存じの方もいると思いますが、当別町市街から神居尻地区に向かう途中で、旧青山小中学校を少し過ぎた所に「ふくろう」の顔をデザインした木造の案内所が目につきます。ここには、案内所や駐車場、トイレなどが整備され「道民の森青山中央地区」として今年から「道民の森」の情報を発信して行きますので、是非お立ち寄りください。

【申込先・問合せ 道民の森管理事務所 ☎2-3911】

商店街活性化センター「あえ～る」情報

町広報誌「ふくろうキャラクター」展

期間 4月7日(水)～13日(火)

●心の静寂 大沢勉 水彩画展

期間 4月15日(木)～21日(水)

●アースデザイン・とうべつ

(地球の日になんだイベント)

日時 4月25日(日) 10時～15時

時間はいずれも10時～17時(月曜は休館/最終日は15時まで)
 詳細は、「あえ～る」(☎5-5116)または、商工会(☎3-2447)へ。

あえ～るで活動したい、イベントや展示会を開きたいサークル・企業・個人の方は、是非申し込みを!

献血にご協力を願います

◆16歳から69歳までの健康な方なら、どなたでも献血できます。
 ◆65歳以上の方は、献血を経験(60～64歳)している方。

4月15日(木)

- ◆ゆとろ(西町) 10時～11時
- ◆役場(白樺町) 11時30分～13時
- ◆JA北いしかり西当別支所(太美町) 14時～16時

会員募集

大正琴サークル

琴生流大正琴「当別教室」では、春の会員を募集しています。



日本の文化に親しみながら、お友達づくりをしてみませんか?

活動 月2回

場所 白樺コミセン(白樺町) 西当別コミセンほか

その他 日時、場所は随時連絡します。

申込・問合せ 渡辺(☎3-0270)または、西口(☎6-4676)へ。

スウェーデン語会話講座 入門編

挨拶、日常会話など基礎的な会話が習得できます 主催 スウェーデン交流センター

◆講師 新妻ゆりさん(1993～1995年スウェーデン・バクシヨー大学留学)

◆会場 スウェーデン交流センター(スウェーデンヒルズ)

◆期間 5月10日から7月12日までの毎週月曜(全10回)

◆時間 17時40分～18時40分

◆対象 初心者(中・高校生歓迎)

◆費用 15,000円(教材費含む)

◆申込締切 4月25日(日)

◆申込・詳細 スウェーデン交流センター(☎6-2360)



4月 健康カレンダー

西コミ ~ 西当別コミュニティセンター(太美町) **ゆとろ** ~ 総合保健福祉センター<ゆとろ>(西町)
()内は受付時間です。

1 **木**2 **金** 健康相談(9:30~11:30) **ゆとろ**3 **土**4 **日**

女性がん検診(7:20~8:00ゆとろで受付)
札幌検診センターへ

5 **月** 健康相談(9:30~11:30) **ゆとろ**当別断酒会(18:30~20:30) **ゆとろ**6 **火** 女性がん検診(7:20~8:00西当別コミセン
で受付) 札幌検診センターへ7 **水**8 **木**9 **金** 健康相談(9:30~11:30) **ゆとろ**10 **土**11 **日**健康相談(9:30~11:30) **ゆとろ**12 **月** 4カ月・10カ月児健診(13:00~14:00) **ゆとろ**13 **火** ポリオ予防接種(13:00~13:30) **ゆとろ**かすみ草の集い(10:30~14:30) **西コミ**14 **水** リハビリ教室(10:30~14:30) **ゆとろ**15 **木** ポリオ予防接種(13:00~13:30) **西コミ**健康運動相談(9:30~11:30) **ゆとろ**16 **金** 1歳8カ月・3歳児健診(13:00~14:00) **西コミ**17 **土**18 **日**健康相談(9:30~11:30) **ゆとろ**19 **月**

歯科検診・フッ素塗布

(9:30~14:00) **ゆとろ**当別断酒会(18:30~20:30) **ゆとろ**20 **火** ポリオ予防接種(13:00~13:30) **西コミ**21 **水** ねこやなぎの会(10:30~14:30) **ゆとろ**22 **木** ポリオ予防接種(13:00~13:30) **ゆとろ**健康相談(9:30~11:30) **ゆとろ**23 **金**

1歳8カ月・3歳児健診

(13:00~14:00) **ゆとろ**24 **土**25 **日**26 **月** 健康相談(9:30~11:30) **ゆとろ**27 **火** 友遊会(10:00~12:00) **ゆとろ**28 **水** 重点健康相談(9:30~11:30) **ゆとろ**29 **祝**30 **金** 健康相談(9:30~11:30) **ゆとろ**

5月上旬の主な予定

健康相談 9:30~11:30

祝日を除く毎週月・金曜日 **ゆとろ**

4カ月10カ月児検診

5月10日(月) 13:00~14:00 **ゆとろ**

女性がん検診

5月11日(火) 7:20~8:00

(ゆとろで受付) 札幌がんセンターへ

マタニティスクール

5月11日(火) 13:00~15:30 **ゆとろ**

ねこやなぎの会

5月12日(水) 10:30~14:30 **ゆとろ**

▶ 申込・詳細 福祉課保健サービス係(「ゆとろ」内・☎3-2346)

▶ 申込・詳細 当別断酒会 日中は江別保健所(☎011-383-2111)、夜間は工藤(☎2-2510)へ。



健康づくりのわざ教えます



2月28日、ゆとろで「健康なまちづくり研究会」が開かれ、87人の皆さんと楽しく学びました。

講師は、三重

県松阪保健所の佐甲隆所長。終始笑いをまじえながら健康づくりのわざ「ライフスキル」について、お話くださいました。

「ライフスキル」(生活の知恵・生きる力)とは



「ストレスを上手に乗り越えるわざ」や「やりたい自分になるために自己コントロールできるわざ」の事をいいます。

例えば、ストレスが原因で「痩せたいけれどつい食べてしまう」とか、「タバコを止められない」という話をよく聞きます。このような人がライフスキルを上手

に使えるようになると、過食やタバコに頼らなくても、ストレスを解消できるようになり、健康に暮らせます。

ライフスキルを磨くためには、「コミュニケーション」と、「自分に自信を持つこと」が大切です。

わざ①「コミュニケーション」

最近、家族・友人などと語り合っていますか? コミュニケーションを良く図り、お互いの良さを気付きあう事が、心の安定をもたらし、健康につながります。

わざ②「自分に自信を持つ」

健康づくりは、自分が変わる事、なりたい自分になる事です。自信を持つためには、小さな達成感の積み重ねが必要です。これには、ほめる事が大切です。「ダイエットのために好きな甘い物を半分我慢した自分をほめる」「禁煙3日目の夫をほめてあげる」など、ほめる事が自信につながっていきます。

「コミュニケーション」も「ほめること」も、人とひととの交流の中で得られることです。たまには、ご家族同士で肩でも揉んで、ほめあいをしてみてはいかがでしょうか? 最初は照れくさいけれど、きっと笑顔になっていくことと思います。

町保健師 内藤 真紀子

4月 (内科系・救病当番医)						
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
堀江	勤医協	堀江	堀江	堀江	太美	近藤
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
さわざき	とうべつ内	スウェーデン	勤医協	堀江	堀江	堀江
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
太美	近藤	さわざき	とうべつ内	スウェーデン	堀江	堀江
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
堀江	堀江	太美	近藤	さわざき	とうべつ内	スウェーデン
29日	30日					
堀江	勤医協					
5月 (内科系・救病当番医)						
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
堀江	堀江	太美	近藤	さわざき	とうべつ内	スウェーデン
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
堀江	勤医協	堀江	堀江	太美	近藤	さわざき
医療機関						
勤医協当別診療所	☎3-3010		末広			
近藤医院	☎3-2021		園生			
■さわざき医院	☎5-2055		北栄町		要予約	
■とうべつ内科クリニック	☎2-1313		西町		要予約	
太美中央医院	☎6-2332		太美南			
スウェーデン通り 内科循環器科クリニック	☎5-3151		太美町			
■堀江病院	☎2-3111		樺戸町		要予約	
とうべつファミリークリニック	☎6-4649		太美町			

内科系
救病当番医

日	土	平
曜	曜	
祝	日	日
日		
9時	14時	19時
〜	〜	〜
12時	17時	21時
・	・	・
14時	17時	
〜	〜	
17時		

- ◆乳幼児健診 対象者には個別に通知します
- ◆予防接種 (個別接種) 左記医療機関で受診可
DPT (ジフテリア・百日咳・破傷風) ⊕対象
3カ月~90カ月未満児
D T (ジフテリア・破傷風) ⊕対象 11~12歳
麻しん ⊕対象 1歳~90カ月未満児
風しん ⊕対象 1歳~90カ月未満児
- ◆予防接種 (集団接種)
ポリオ ⊕対象 生後3カ月~90カ月未満児
- ◆健康相談
水曜日 (重点健康相談) ~保健師・栄養士が健康についての相談に応じます
月・金曜日 ~運動の器具 (ウォーキングマシン、エアロバイクなど) が使えます
水曜日 ~保健師が健康についての相談に応じます
- ◆リハビリ教室 ~心身機能に心配があり、生活リハビリを受けたい方
- ◆ねこやなぎの会 ~脳卒中など同じ病気を持つ仲間と交流や親睦をはかりたい方
- ◆かすみ草の集い・友遊会 ~外出の機会が少なく家に閉じこもりがちな高齢者
- ◆当別断酒会 ~「お酒」で悩んでいる方と家族は一度おいでください

※予防接種を受ける場合、■については予約制です。(事前に連絡願います)

「ふくろうの絵」に 応募ありがとうございました



当別小5年
藤原咲良さん

“とうべつ”の文字が入っているアイデア満点のふくろう。



西当別小4年 佐藤心さん

ふくろうの笑顔と色合いがとてもすてきですね。



川下小4年 佐藤陽織さん

まるい「ふくとくん」が親しみやすいですね。

小中学校を通じて、町広報誌「とうべつ」の紙面を飾る、町の鳥ふくろうの絵を募集したところ21点もの応募をいただき、ありがとうございました。

個性あり夢ありと、みなさんが「当別が好き！」という気持ちが伝わってくる作品ばかりでした。この中から3点を選び、5月号から採用させていただきます。(学年は15年度)

作品は「あえ〜る」で4月7日〜13日まで展示します。是非、みにきてください。



西当別小6年 小野雄祐さん



当別小6年 高谷司さん



西当別小4年
上田佐由香さん



西当別小4年
田村玲子さん



西当別小4年
柳田亜衣さん



西当別小4年
金子翼さん



西当別小4年
柴野嵩大さん



西当別小4年
平なつみさん



西当別小5年 齋藤絵梨花さん



西当別小4年 工藤友香理さん



西当別小4年 本間映見さん



川下小5年 佐藤裕香さん



西当別小4年
森恵さん



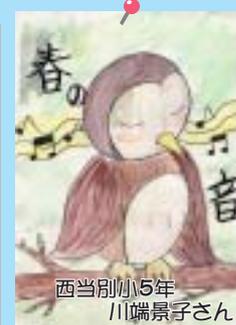
西当別小4年
水野紫央里さん



西当別小5年
宮前和希さん



西当別小5年
山田祐汰さん



西当別小5年
川端景子さん



当別小4年
原田舞さん